

## 子育てに絵本を

今回は、絵本を子どもに読んであげる楽しさ、大切さをお伝えしたいと思います。

### お母さんが

幸せな気持ちで子育てをするために、生まれたばかりの赤ちゃんにも絵本を読んであげてください。まだ字が読めない乳幼児期を「絵本の黄金時代」という人もいます。

「それどころじゃないわ」、「家事や雑用が山のようにあるのよ」という人も、たとえ10分でも子どもの安心感を増やしてあげてください。絵本を読む時間を共有することで、お母さんの心も落ち着きます。絵本って、子どもにも大人にも副作用の

ない精神安定剤になってくれるのです。

### 子どものころに、

どれだけ良い絵本に出会うことができるかで、その後の人生が変わるといっても言い過ぎではありません。絵本は親子で体験や感動を共有でき、親と子のつながりを深めます。そして「自分は親から愛されている、かけがえのない存在なんだ」という実感が湧き、まわりの人たちを大切にしようという思いやりの心や見えなものをみる力が育ちます。また、絵本のきれいな言葉を耳にしていれば、早期教育などしなくとも、子どもの言葉数は増え、自分な

りの表現ができるようになります。成長に合わせて、永年読み続けられている質の良い絵本をたくさん読んであげてほしいと思います。

### 絵本の

きれいな言葉には、もうひとつの力があります。世の中は粗雑な言葉が氾濫はんらんし、イライラしがちな子どもが増えている現状があります。言語能力の発達が遅れる子どもも増えていきます。でも、絵本を読んでもらっている子どもは、きれいで温かな

言葉が身につきます。言葉は、心と体に密接に関係しているのです。きれいな言葉はきれいな行動につながります。そして、絵本は子育てのヒントにもなるし、子どもに伝えきれないことも代わりに伝えてくれます。子どもがさまざまな体験をする時間や空間が少なくなる中、絵本が伝えるものは多いのです。

### 添い寝しながら、

あるいはひざに抱っこして

もらいながら、お母さんの声を聴くのは、子どもにとって至福の時間です。さあお母さん、優しく淡々と心を込めて、子どもに絵本を読んであげてください。

※どんな絵本が良いのかわからない人は、近くの図書館にお尋ねください。  
※便宜上「お母さん」と書きましたが、それぞれの家庭に置き換えてみてください。

家庭児童相談室 甲斐久美子

